

Jomon Shiba



NPO法人  JSRC
縄文柴犬研究センター

46号

2020年6月10日

NPO法人  JSRC
 縄文柴犬研究センター

もくじ

もくじ・・ 1

2020年度理事総会・懇親会の様子 ☆ 広島県 柳楽 倫・・ 2

理事会・総会の議事録（要旨）・・ 6

2019(平成 31 年令和 1 年)年度の事業報告書・・ 10

2020(令和 2)年度の事業計画・・ 12

元（栗の紅王）二年間飼育感想 ☆ 秋田県 高橋 務・・ 15

JOMON-HIROBA ☆ 広島県 岡村 智鶴・・ 18

お知らせ JSRC のメディア紹介・・ 23

JSRC事務所は、秋田から広島へ移転しました

特定非営利活動法人 縄文柴犬研究センター

郵便振替口座 : 02280-2-106951

会事務所 : 〒 737-2214 広島県江田島市大柿町深江 478-1 ☎ 080-4551-9965
FAX 0823-57-2692

<http://www.j-shibainu.sakura.ne.jp/>

Email:encounter_shiba@jomon-hiba.sakura.ne.jp

2020年度 理事総会・懇親会

広島県 Nさん

広島で開催された理事会・総会は新型コロナウイルス感染症による自粛要請で広島会員のみで開催となりました。開催前にハガキやメールによる理事の選出が行われ、当日は広島研究所にて約10名集まった広島会員で会議が進められました。

はじめての試みでしたが、議長を務めたMさんの進行により違和感もなく着々と議題を話し合いました。



今年度より理事が大幅に交代！！

この事で一同、驚きを隠せない事態になり、これからの活動の行く末を心配し この会の今後の在り方も話し合うことになりました。若い世代が増えたというのは嬉しい反面、長年の功績ある理事との交代により、縄文柴犬に関してやこの会に関しての知識や経験の浅さの問題はありますが繁殖育成、会の存続、発展の意欲だけを糧に理事を引き受け、集まった皆様全員で熱心に意見を交換していました。

そして、縄文柴犬が好きで出逢えた全てのこの会の方達と交流し、連携し円満な関係を持続させ犬も里親たちも共に幸せな生活を築いていくという想いを胸に、2020年度理事総会は午前中で終了いたしました。

お昼からは書類をカバンに収め、まずは得意料理の持ち寄りランチで一気に盛り上がりました。
広島会員は食のこだわりのプロや無農薬野菜の農家や猪肉を販売している狩猟者などいますので、このメンバーが集まったわけなので、さすがにこの日の料理はすべて美味しかった！



猪ハンバーグに手作りトマトソース



メンバーやお友達の皆さんの自慢の手料理がテーブルに並ぶと次々と集まってくる子供たちとワイワイ賑やかに



ぜんぶ乗せは超豪華





持ち寄りの美味しい食を囲むのも楽しいけど、
やはり最後は犬を囲んでそれぞれ自己紹介





広島県交流会 縄文柴犬全13頭集合

理事会・総会の議事録（要旨）

理事会

日時：2020年5月4日 開催方法：書面にて

出席：橋理事長、他理事7名(総役員8名)

審議事項：総会提出議案すべてについて報告を受け討議し、修正意見をも受け入れて総会議案とするところを確認した。

日時：2020年6月14日 開催方法：オンライン会議 出席：理事9名

総会 日時：2020年5月24日 場所：広島県東広島市 コダマノモリ

出席：理事2名 会員6名、書面議決書78名 計96名（社員数109名）

総会運営任務分担：議長 R. M 議事録署名人R. N、H. O

*総会開会に当たり、R. M理事より「新型コロナの影響で当初予定していた総会とは違う方法での開催となりましたが役員及び会員の皆様のご協力もあり書面議決書を活用した総会を開催することができました。ありがとうございます。今年度より新たな事務局体制となりますが、まだまだ至らぬ所もございます。今後とも会員の皆様のお力添え、ご協力の程よろしく申し上げます。」という旨の挨拶がありました。

総会決定事項

1、2019年度事業報告 2019年度収支決算書 2020年度事業計画 2020年予算書は提案通り、書面議決書(過半数以上)、及び総会参加者全員の同意で採択した。

2、書面議決書の会員からの議案や要望活動への意見について確認と回答をしました。

3、役員選出について

書面総会による理事・監事投票の結果

社員総数 109名 投票数 73(内 有効票数 70 無効票数 3)

信任投票の結果、理事候補及び監事候補の全員が過半数以上の投票で信任されました。

理事 Aさん Aさん Kさん Sさん Oさん Dさん Nさん Mさん Hさん

監事 Tさん Wさん

総会后、互選する理事会が開催されオンラインも含め 以下の結果となりました。

理事長 Dさん 副理事長 Aさん Nさん 事務局長 Mさん 会計 Oさん

4、定款の改定について

定款の改定について、以下のとおりです

① 第1章 総則、〔事務所〕第2条 この法人は、主たる事務所を以下のように改定します。

「秋田県大仙市内小友字堂ノ前119番地5に置く。」を

「広島県江田島市大柿町深江478-1に置く。」

・改定の理由

秋田事務所から広島事務所移転についての準備が整いましたので、住所の改定いたします。

以下省略

2019(平成31年令和1年)年度の事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 縄文柴犬研究センター

1 事業の成果

縄文柴犬の研究や保存・普及に関する事業を行い、動物愛護の精神に則り、平和で心豊かな人と犬との共存社会を育むことに寄与した。また環境の保全や科学技術の振興、社会教育の推進活動にも成果を納めた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (c) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額(単位:千円)
1. 縄文柴犬に関する各種の研究及び地域社会への普及に係る事業	会誌42号発行 会誌43・44合併号発行 会誌45号発行	(A) 2018.06.10 2018.12.10 2019.03.30 (B) 秋田県・広島県 (C) 10~25名	(D) 全国 (E) 200人	350
2. 縄文柴犬の繁殖管理及び飼育(里親としての育成・管理を含む)に係る事業	HPや新聞広告の活用 会誌の活用 事務所移転	(A) 随時 (B) 秋田・宮城・広島 (C) 5~10名	(D) 全国 (E) 不特定	200
3. 縄文柴犬犬籍の整備及び柴犬血統書の発行に係る事業	血統書の発行	(A) 随時 (B) 広島・秋田 (C) 3名	(D) 会員・一般 (E) 不特定	20
4. 縄文柴犬に関する審査及び指導員等の育成に係る事業	交流会及び学習会	(A) 2019.9 (B) 広島県・秋田 (C) 20名	(D) 一般・会員 (E) 不特定	10

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	事業費の金額(単位:千円)
(1) 環境の保全を図る活動	研究報告(会誌) 鳥獣害対策研究	(A) 継続13年目 (B) 秋田・広島 (C) 4名	20
(2) 科学技術の振興を図る活動	繁殖データ整理・研究	(A) 継続10年目 (B) 全国 (C) 10名	20
(3) 社会教育の推進を図る活動	訪問交流活動 鳥獣害対策指導・広島 中級・上級テキスト作成	(A) 月1回 (B) 広島県・秋田 (C) 3~10名	250
(4) その他 (次期繰越分含む)	出版準備(仮称J SRC資料集) 2012.9より着手	(A) 継続9年目 (B) 秋田県 (C) 10名	650

令和1年度 特定非営利活動に係る事業会計収支決算書
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 縄文柴犬研究センター


科 目	金	額	(単位:円)
I 収入の部			
1 会費・入会金収入			
入会金収入	11,000		
年会費収入	245,000		
		256,000	
2 財産運用収入	1	1	
3 事業収入			
犬舎・犬籍簿事業	22,000		
保存協力金	20,000		
		42,000	
4 寄付金			
寄付金	113,290		
		113,290	
当期収入合計(A)		411,291	
前期繰越収支差額		994,531	
収入合計(B)			1,405,822
II 支出の部			
1 事業費			
研究・普及事業	187,109		
製本印刷費	156,690		
広告費	0		
		343,799	
2 管理費			
通信運搬費	45,105		
事務消耗品費	151,822		
事務経費	171,020		
		367,947	
3 予備費			
予備費	0		
		0	
当期支出合計(C)			711,746
当期収支差額(A)－(C)			-300,455
次期繰越収支差額(B)－(C)			694,076

会 計 監 査 報 告 書

令和元年度特定非営利活動法人縄文柴犬研究センターの会計全般について監査をおこなったところ、適正かつ正確に処理されていると認めます。

令和2年5月6日

特定非営利活動法人縄文柴犬研究センター


監 事 竹内 誠 

会 計 監 査 報 告 書

令和元年度特定非営利活動法人縄文柴犬研究センターの会計全般について監査をおこなったところ、適正かつ正確に処理されていると認めます。

令和2年5月6日

特定非営利活動法人縄文柴犬研究センター

監 事 渡部 義太 

2020(令和2)年度の事業計画

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人 縄文柴犬研究センター

(1) 事業の成果

縄文柴犬の研究や保存・普及に関する事業を行い、動物愛護の精神に則り平和で心豊かな人と犬との共存社会を育むことに寄与する。また環境の保全や科学技術の振興、社会教育の推進活動にも取り組む。

(2) 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (c) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位: 千円)
1. 縄文柴犬に関する各種の研究及び地域社会への普及に係る事業	会誌46号発行 会誌47号発行 会誌48号発行 会誌49号発行	(A) 2019.06.10 2019.09.10 2019.12.10 2020.03.10 (B) 広島県 (C) 10~25名	(D) 全国 (E) 200人	700
2. 縄文柴犬の繁殖管理及び飼育(里親としての育成・管理を含む)に係る事業	HPや新聞広告の活用 会誌の活用	(A) 随時 (B) 広島・宮城・新潟・秋田 (C) 5~15名	(D) 全国 (E) 不特定	50
3. 縄文柴犬犬籍の整備及び柴犬血統書の発行に係る事業	血統書の発行	(A) 随時 (B) 広島・秋田 (C) 3名	(D) 会員・一般 (E) 不特定	20
4. 縄文柴犬に関する審査及び指導員等の育成に係る事業	交流会及び 小規模勉強会	(A) 未定 (B) 新潟県・広島県・秋田 (C) 30名	(D) 一般・会員 (E) 不特定	20

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	事業費の金額 (単位: 千円)
(1) 環境の保全を図る活動	研究報告(会誌) 鳥獣害対策研究	(A) 継続13年目 (B) 秋田・広島 (C) 10名	20
(2) 科学技術の振興を図る活動	繁殖データのまとめ・研究	(A) 継続10年目 (B) 秋田・広島 (C) 4名	20
(3) 社会教育の推進を図る活動	・訪問交流活動 ・中級・上級テキスト作成 ・10周年記念集作成	(A) 2020 (B) 広島・秋田 (C) 100名	350
(4) その他(次期繰越分含む)	出版準備(仮・JSRC資料集)	A) 継続10年目 (B) 秋田県 (C) 10名	351

2020年 令和 2 年度 予算書 (案)
 令和2年 4月 1日から 令和3年 3月 31日まで
 特定非営利活動法人 縄文柴犬研究センター
 (単位:円)

科 目	特定非営利活動 に係る事業	その他の事業	合計
I 収入の部			
1 会費・入会金収入	555,000		555,000
入会金収入	10,000	0	
会費収入	545,000	0	
2 寄附金	100,000	0	100,000
3 事業収入	182,000	0	182,000
1 縄文柴犬に関する各種の研究、及び 地域社会への普及に係わる事業。	1,000		
2 縄文柴犬の繁殖管理、及び飼育(里親と しての育成・管理を含む)に係わる事業。	150,000		
3 縄文柴犬犬籍簿の整備、及び柴犬血 統書の発行に係わる事業。	25,000		
4 縄文柴犬に関する審査及び指導員等 の育成に係わる事業。	5,000		
5 その他、本法人の目的を達成するた めに必要な事業。	1,000		
4. 補助金等の収入	0	0	0
当期収入小計	837,000	0	837,000
前期繰越収支差額			694,076
当期合計 (A)			1,531,076
II 支出の部			
1. 事業費			
(1) 人件費	0		
(2) 会議費	10,000		
(3) 研究・普及費 (広告)	200,000		
(4) 製本印刷費(会誌)	500,000		
(5) 審査育成・研究費		10,000	
事業費計	710,000	10,000	720,000
2. 管理費			
(1) 通信運搬費	45,000		
(2) 事務消耗品費	50,000		
(3) 事務経費	60,000		
(4) 旅費交通費	0		
管理費計	155,000	0	155,000
3. 予備費			
出版積立金		500,000	500,000
PC積立金		15,000	15,000
当期支出合計(B)			1,390,000
当期収支贈減額(A)-(B)			141,076
次期繰越正味財産額			141,076

元（栗の紅王）二年間飼育感想

秋田県 T. T

・横の交流が必要

元を飼育して二年が過ぎ、この間の気付いた点を書きたいと思います。

この犬を飼育するのは難しいと考えた一時期もありましたが、今ではわれわれ夫婦と元とは親子のような家族と考えた生活をしています。本当に良かったと思います。

最初の一年間は先代の犬とあまりにも勝手が違うため、試行錯誤の連続でした。

とくに7から8ヶ月目あたりまでは、運動能力等があまりありすぎるために手こずることが多かったように思います。これに加えて野生味、勇敢さなど狩猟に適する力がありすぎることで飼育のたいへんさを増すことになりました。私共としてはごく普通程度の犬で良かったわけで、すぐれた能力が揃っていれば良いとも考えず、問題行動のように思うと飼育に失敗したのでしょうか、何が悪かったのだろうかなどとささいなことで反省することが多く、犬種選択の後悔も感じました。

かつて近所にラブラドル・レトリバーや秋田犬など、適度に大きなイヌを飼育している家もありましたが、今はチワワ、ポメラニアン、豆柴など扱いやすい小型軽量犬しか飼っていません。

小型犬といわれる柴犬はここでは中型犬です。15kg以上ある元が私の住む地域では一番大きな犬になっています。秋田県であっても縄文柴犬は珍しい犬の部類に入ります。誰かこの犬種を飼育している人がいないものかと思いました。ようやく自信がもてるようになったのは一歳すぎたあたりからです。

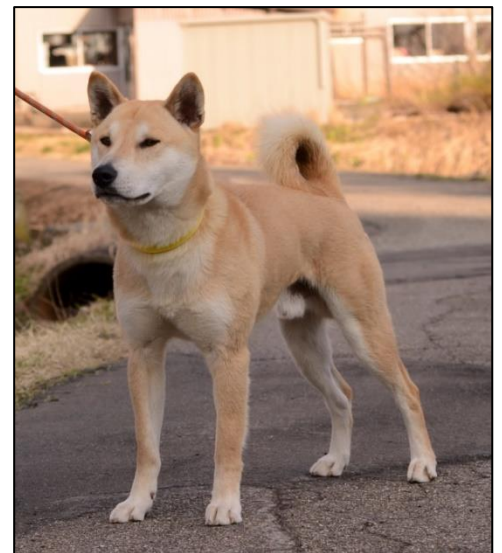
最低一年間くらいは自分の一番近くに住んで飼育している人から話を気軽に聞けるようであれば随分助かるのにと思いました。また、自分の経験なども新しく飼育する方に伝えられるわけですから、個人情報保護が大切のため公開を目的とする会員名簿等は作成していないようですが、何年ごとかに更新されるような公開目的の会員名簿はあったほうが良いように思います。

私は歴史系の学会に属していますが、以前と変わりなく会員名簿は作成されています。繁殖や組織の発展を考えるとであれば、各個人の希望に即して公開しても良いレベルがあってもよいので、名簿を通じて横の繋がりをつけるようになる必要と思います。全国一本ではなく、今後地域的な組織は必要と思います。

・課題のその後

会誌第41号で報告した「我が家の縄文柴犬飼育八か月の一課題」について、その後の経過を試行錯誤の一例として紹介したいです。散歩中に空き地や広場を通ると突然大きく走り回り、ジャンプして飛びかかってくる行為をなんとか解決したいという内容でした。この行為それ自体は今なお続いています。ただはじめのころと今はずいぶん違った受け止め方になっています。

元は日中外のサークルの中におり、散歩で広く開けた拘束されない空間にくると解放されるらしく、ただ自由に走り回りたくなるようです。いわば本能的にダイナミックに動き回って、時折手を目指して飛びかかるようにジャンプして気晴らしするわけです。この対応策としてゴム手袋をはめるようになったことは前回紹介しました。このゴム手袋にもい



栗の紅王 2018/3/27 生

ろいろあり、くぎや刃物にも耐えうるゴム手袋を「ワークマン」という店で発見してから、これを常用にしました。

極寒以外は「テムレス」というゴム手袋も重宝します。

一歳くらいからこの行為とこれについての考えが変化しました。

次第に私が相手する一種の訓練となり、妻の散歩のときはほとんどやらないようになりました。

妻では相手にならないからです。私のときは態勢を低くして走り回り、安心して飛びつくことができ、前足でポンと私の身体を突き放し、時には顔近くまでジャンプしたり、手を噛むような仕草をみせたりします。

狩猟をイメージした訓練として行うようになったからです。私の目を上にそらせ本当のねらいはアキレス腱あたりで、隙があればカリッと噛みます。

実戦で何を想定した訓練かはわかりませんが、何回か繰り返します。

遊び相手もいませんで、これぐらいは仕方ないかなとも思いました。また、ここで私の標準装備は長靴に変わりました。元は若いときに比べると動きやジャンプの力はあるのですが、ある程度回数で疲れるらしく、成長するにつれて長く続けないようになりました。こちらを制したりしようと考えないで、目も合わせず少しやらせてやる程度の気持ちでおさまるのを待つことにしました。

時に歯が強く当たったときに怒った目付きをしたり、声を出して制したり、わざと挑発して長く続けさせたりして変化をつけてやります。要はこちらの裁量での遊び扱いと考えるようになったわけです。

元は私の表情をよくみて動いているため、表情を観察してここあたりでやめると判断ができるようで、リードを咥えてこらで止めたいと相図します。

私の場合普段声をあげることはありませんが、怒った声を出してリードを短く持ち直しますと、これは危険と判断して急いでおすわりをします。もちろん毎日走り回るわけでも、また怒るに至るわけでもありません。

ある程度余裕をもってこの行為に対処できるようになったと考えています。たまには不意をついて後ろから抱き上げ、私の力がなんともならないほど強いということをつからせておきます。

むかしより皮膚が弱くなり、簡単なことでケガしますので、長袖シャツ、ゴム手袋、長靴は当分常用にしようと思っています。

さまざまなことがありますがお互い一緒に暮らしていれば妥協点を見出しながら生活していけると思います。とくに最初の一年間くらいは双方とも気心がよくわかりませんので、組織として助けてやれる体制を充実させていくとありがたいのではないのでしょうか。

・時期によって違うしぐさ

元は二歳くらいまでは散歩の最後の頃になりますと、チャンスをとねらって私の後ろから両足に抱きついて後足で立って何歩か歩くようなことをしてきました。妻に対しては散歩に出発するとき少し、帰りは私よりはずっと長くこの行為をして家までくることが繰り返されました。その力は成長につれて強く、ギュッと抱きつくようになりました。連日何のためにやるのかよくわかりません。もっとも仔犬の頃から片足につかまることがよくありました。誰が教えたわけでもない行為です。「タックル犬」などとテレビで珍百景として見たこともありますので、ことによると犬がよく行うことかも知れません。

しかし、二歳ころからはこれを全くやめて毛繕いと同じようなことを私の服に対してするようになりました。前歯で衣服を細かく噛むわけです。妻に対してはしゃがむと帽子まで入念に毛繕いします。あたかも身だしなみを整えて外出や帰宅後にはすべきだと考えているようです。伸び上がり執拗にこれを行います。とくに危害を加

える行為でもありませんので、器用に毛繕いする行為は許しています。

この先どう変化するかわかりませんが、先代の犬と違う元の行為を紹介しました。こういうことは元だけのことでしょうか。

・小屋の本から

小屋の本を整理して、私にも犬についての本もっていることがわかりました。

いずれも古本屋から別の目的で十年位前に購入したものです。一冊目は藤森栄一という長野県の考古学研究者の本で、『峠と路』（昭和48年、学生社）という中にある「信濃の犬の物語」という随筆みたいなものです。

著者と川上犬チロの思い出を書いたものです。川上犬の牝コロをつれて川上村に子種をもらいに行き、川上犬保存会長に一札を入れて認めてもらい、その時のコロが産んだ子がオスのチロで、簡単な記述の中に素朴な犬との生活を記しています。

二冊目は藤本強という編者の『考古学は愉しい』（1994年、日本経済新聞社）という本です。

この中に「イヌと日本人」という章がありました。執筆したのは西本豊弘という動物考古学の研究者で、とくに縄文犬の頭蓋骨の特徴を解説してあります。この点は五味靖嘉さんの『縄文柴犬ノート』（2012年、精巧堂出版）にも詳しくあります。本会の会誌の奥付に頭蓋骨の側面とメジャーがついた写真が必ずついているわけは、縄文柴犬が額段（ストップ）と呼ばれる前頭部がくぼんでいないということを示すためだろうと思います。

縄文時代のイヌはストップがほとんどみられなく、頬骨の張り出しが弱くキツネ顔で、体高40センチ位ということで現在の柴犬サイズのイヌが多かったことなど、うまく説明しています。

本会でもテキストで縄文時代にふれることが多いわけですが、イヌの歴史を考えた場合、次の弥生時代と明治時代以降が日本のイヌの中で最も大きな変化をもたらした時代と説明しています。

たとえば弥生時代に入りますと、前頭部にストップがみられるようになり、イヌを食料とした痕跡があるということです。埋葬することは稀でイヌに対する価値観が違う時代に入った形跡がみられるということです。ともすると縄文時代と現代だけ論じますが、その間にはさまざまな時代があることを少しは考えてイヌと人間の関係を考える必要があるのではないのでしょうか。したがって、私の専門の江戸時代と秋田藩のイヌとの関わりについて、よい史料を見つけましたので機会があれば報告したいと考えています。

ついでに東北で一番有名なイヌの骨が多数出土した遺跡は宮城県の田柄遺跡という縄文後期・晩期の貝塚で、石灰質の多い土質のためたまたま骨として遺ったわけです。世界遺産として申請している「北の縄文遺跡群」の中に、青森県の国指定史跡二ツ森遺跡という貝塚からもイヌの骨の検出例が報告されています。これも同様です。ふつう縄文のイヌの骨はそう簡単に地中に遺るものではありません。秋田県では全く発見されていません。

しかもイヌの遺骨の発掘を目的とした学術的に調査するということはまず考えられません。たまたま好条件下で発見されたごく稀で特殊な例になります。そこでの成果でみんなを納得させるような縄文時代のイヌ一般を説明することなどできません。縄文時代の人の短い寿命を考えますと、生き抜くだけでも相当厳しい時代だったと思うのですが。



JOMON-HIROBA

～飼育感想～

- 広島県 C. O -

2017年9月に、ハク(秋の紅葉王)が、当家にやって来て、早くも2年6ヶ月経過しました。

縄文柴犬を飼って、私が思う他の犬との違いは、とにかく頭が良い事。感情がかなり豊かな点です。犬なのに？凄く考えるんです。本能もあるだろうけれど、彼の考え、気持ちを大切にしないと、やさぐれる。犬だよ？とさえ思われる。

愛情が足りないと本人(ハク)が感じたなら、必ず何らかのアクションを起こしてくる。

かと言って、気をかけ過ぎると、凶に乗って？人間を逆にコントロールするかの如くに打って出て来る。

基本、家族以外には、心を許さない。

音に敏感(臆病)、散歩より食い気。

当家の息子が、社会人となり、今年の春、家を出て、今年のお正月に久しぶりに戻った時の事です。

いつも通りの接し方だったと思うのですが、自分のお株を奪われた？と寂しかったのか、外飼いなのに、家の中に侵入して来たので、外へ出るよう注意しました。

すると、玄関の上がり口に座っていた私の横に、ピッタリ体をくっつけて、前足を私の膝に乗せて、体の全体重を乗せて来ました。

ハクの気持ちが良くわかりましたので、彼の背中を撫でながら、

「お兄ちゃんが帰って来たが、皆んな、ハクの事が大好きで、可愛いと思っているんだよ」としばらく声かけをすると、

吹っ切れたように、自分の外のポジションに戻りました。

人間の子育て終了？と入れ替えに、犬の息子が出来たような感覚です。

写真は、緊急事態宣言が出る前の3月末、近くの黄金山にて。

皆様、くれぐれも用心して、この時期を乗り越えて行きましょう！

- 秋田県 Gさん -

O様へ

素晴らしい、余計な言葉がなく具体的な観察報告ですね確か、以前に新美先生の「診察台上」での観察がありました。

動物学者の小原秀雄先生が、1万年の進化としてのヒトとイヌの関係を想定した事が述べられており



その時代の犬たちがどのように人との関わりがあるか?

縄文柴犬の保存にとって、ある意味では、獣害対策よりも重要な問題が関わっています。

因みに、30年以上昔の、縄文柴犬は、馴れにくい、噛み付く、逃げたら二度と捕獲できない・・・等が大きな問題でした。

- 宮城県 Dさん -

私が以前飼っていた雌(星女・ほしめ)も、驚くくらいに利口な犬でした。

利口というのか、その場の状況を素早く察し対応する能力がありました。又、記憶力も良く、甘えることも上手でした。

例えば

①星女が汚れてきたので妻が洗おうとして、犬を呼んだところ、いつもはどうしたの?と言う感じで妻のところに来るのに、その時は姿を見るなり小屋に入り身を縮めて出なくなった。洗体は今回が2回目。妻曰く「風呂場で体を洗われる事を気づいたんだ。この前と同じ短パン、Tシャツを着ていたから分かったんだ」

②家族で旅行に行くと、星女はいつも私の側にいるのに、そういう時には必ず妻のところから離れない。妻曰く「あなたは旅行に行くと酒を飲んで、夜と朝の散歩をしないから、私に散歩の予約をしているのよ。目がキラキラして訴えかけているのが良く分かる。」

③犬がまだ小さかった頃、少し悪さ?をした時に私が「こら、ダメ」と強く叱ると、一緒にいた子供たちの後ろに素早く隠れて自分を守ると言う仕草をし、私の方をチラチラと見る。子どもたちが盾となって「お父さん、星女は女の子だからね。強く叱らないで」という。私は星女を見ながら分かったと言うしかない。妻曰く「星女はあなたが弱い所を良く知っている。自分を守る方法も勉強している」

④田沢湖高原の温泉宿に泊まり、妻が星女と細い山道散歩していた時、突然星女が足を止め「ウー」と唸り身構えた。妻が何かいると感じてすぐに星女を連れて宿戻った。宿の主人が言うには「最近、この周りに熊が出没している」。妻曰く「一人で歩いていたら危なかった。助かった」

⑤金華山に泊まった時、妻と星女は沢山の猿と鹿に見張られて散歩したが、星女は威嚇もせずに猿と鹿を無視したかのように楽しく散歩していた。妻曰く「田沢湖高原の時と違って、星女は危険を感じなかったのかも知れない。でも私は猿と鹿に見られていて怖かった」

⑥家族に何かしてほしい時(怖がっている時、甘えたい時、心細い時)には裏声で小さく「ウィン-、ウィン-」と甘え声を出して、体を擦りつけてくる。これをやられると家族みんな「どうしたの」と声をかけてハグハグしてしまう。妻曰く「どこで覚えたのかしら、本能なのかしら」

アイコンタクトもとても上手でした。

まだまだ書き足りないのですが、とりあえずこの辺で。

本当に犬? いえいえ三女曰く「間違っって犬に生まれてきてしまったのよね。でも犬に生まれてこなかったら家に来なかったのよね」

私も何が何だかよく分からないで書いています。

- 広島県 Oさん -

返信ありがとうございます

害獣対策の為に飼育されてる方が多そうで、街中で飼っている事に、何となく、疎外感というか、私が飼っていいのか?ハクは幸せなのか?など、色々思い悩んでいました。

ですが、五味さまに、「人と犬との関わり合いが大切で、それがどんな環境であれ、それに対応出来る犬である事も、重要で、街飼いで経過も必要だ」と言って頂き、今までの心配が、やっと最近吹っ切れました。

土井さま、貴重な経験を教えて頂き、ありがとうございます！

本当に、犬？ 全く同感です。

ハクを飼っていて、子供の頃に読んだ「狼王ロボ」を思い出す事があります。ジッと人間を観察し、自分の意を通すべく行動を起こされる度に、あの話に出て来た狼のようだなあと。

環境は違えど、皆様とこうして意見交換させて頂けること、とても感謝しています。

今後とも、よろしくお願ひします。

- 宮城県 Dさん -

追伸です。

星女は不思議な犬でした。

①星女は生後3ヶ月程でGさんの犬舎から我が家に来ましたが、来てから一週間ほど夜になると狼のような遠吠えをしていました。この時は団地の近所の迷惑になるのではとハラハラしながら見ていました。親や兄弟たちを呼んでいたんだと思います。

狼の血が流れているのかな?と家族で思っていました。その間はまだ家族には慣れませんでした。その後だんだんと家族と慣れてきました。遠吠えもしなくなりました。

②玄関から離れた居間の近くに犬小屋があり、不思議なことに、玄関に来た家族、郵便、宅急便、近所の人等よく来る人には吠えず、知らない人が来ると吠えたりしていました。

玄関から小屋までは匂いはしないだろうし、音で分かるのか?

番犬には最高な犬でした。斜め向かいの家に泥棒が入っても我が家には一度も入りませんでした。

③一度だけ会った人でも、自分に好意を持ってくれた人は忘れずにいて、その人が近くに来ると小さく尻尾を振っていました。

④散歩のときに、お気に入りの葉っぱや草を食べていました。そして時々、それらを食べて胃の中にたまった?毛玉を吐き出していました。本能的なものなのでしょうか?

0さんも良く観察してみてください。獣害対策で飼っていなくても犬と生活する楽しみが増えると思います。

- 広島県 Oさん -

貴重な体験談をお聞かせ頂き、ありがとうございます!良く似てるなあ…と。

確かに、良く番をするので、数百メートル先に泥棒が入った時も、ハクが吠えたので、防げたのであろうという事が、数回あります。

また通常いる庭から覗けない高さのある塀の外に、見知らぬ車を誰かが黙って置いたものなら、けたたましく吠えて知らせてくれます。

お互い慣れたかなと思う反面、まだまだこちらが予期せぬ反応を示す事があり、観察しがいのある犬だなあと思

っています。

今回、同じように住宅街で飼育経験の方のお話が伺えて、とても嬉しいです。

- 岩手県 Aさん -

コロナの流行に完全に乗り遅れている岩手県ですが、このまま収束することを祈るばかりです。

これから犬との暮らしを始めるものとして、とても興味深いお話で、とても参考になりました。こういった何気ない日常の話はいいですね(^_^)

会員さんのほとんどが、OさんやDさんのような街暮らしなんだと思いますよ〜。「獣害対策」への活用は、ほんのごく一部かと思いますので、ハクくんとの日常、また教えてくださいね〜。

おかげさまで、ようやく基礎工事に着手しました。コロナの影響で、建築部材の流通が止まっているので、予定通りに進むのかはわかりませんが、夏頃、完成予定です(^_^)。

田舎での犬との暮らしに夢が広がります

みなさんからのエピソードもお聞かせいただければ嬉しいです。

- 福島県 Iさん -

いま新型コロナウイルスの感染で大変な状況に成ってますね!!

今日いわき市で3人目の患者が確認されました。見えない敵?です所以对処が出来ない事が困りますね。

我が家のそら姫様(天の白露)も今年の7月で9歳に成ります。

昨年最後に成るかも知れないと3回目の作出をと考えてましたが私の体調不良で、繁殖センターまで行くのは無理と判断して諦めた次第です。

そら姫様の仔を引き継ぐ為にもと考えてたのに誠に残念でした。

私も住宅地で飼育をしていますが無駄吠えも全くしなくて賢い犬種だと想ってます。

今まで数頭の犬を飼育して参りましたがそら姫様には当初は参りました(笑)

今までの犬とは全く違い扱いには苦勞を致しました!

まず頑固で我が強い?のか私の指示には従わないにはビックリでしたね。

こうなると我慢比べでした。

秋田のGさん宅に預かりに行った時に60~70cmの高さのゲージから逃げ出して私の前を左右に動きよそ見をした瞬間に後ろに回り込み、アキレス腱をガブリと噛みついて来た時に今までの犬とは違うと感じました。生まれ持って狩りの仕方を二カ月半の仔犬が出来るとは参りました。

噛みつくのは今後の事を考えると躰をしっかりと根気よく付き合い直さないと成りませんが生まれ持ってる狩りの仕方も、無くさないで残すのも大事と想い姫様との根競べが始まりました。

元々賢いので数カ月もの根競べが続きやっと私がリーダーと認めさせて今に至ってます。

我が家には大きな時計がありますが二カ月後にはその時計の位置でご飯の時間と散歩の時間やおヤツの時間に成ると催促するのには負けました(笑)

体内時計も1~3分の狂いで出掛けてもワン!!と催促……(;_~A

繁殖を目指してたので添加物の入ってる物は全く食べさせませんでした。

家内が焼く天然酵母のパンは食べますが山崎のパンは決して食べません。

何が入ってるのか分かるのかも知れませんね。

私たちの言葉も現在283個の単語を理解してます。

生まれ→STOP→待て等同じ意味合いのも含めてますので下手な会話は出来ません。

例、どこどこに『出掛ける』等と話すと玄関で待ち構えてますし…。

言葉を理解し先を読む事を最近覚えたので家では隠語を使って対処してます(笑)

この様に賢い犬ですので教え次第で良くも悪く成りますので飼い主はしっかりしないと犬がリーダーだと思い込ませて仕舞うので注意が必要と思います。

そうなる飼い主の言葉は無視をするのでしっかりとリーダーシップが必要ですね。

これから飼育を考えてる方の参考に成れば幸いです。

磐城犬舎 Iさん

- 広島県 Oさん -

一ノ澤さま

ハクを飼い始めの頃、愛情のある助言を頂き、ありがとうございました！

お陰様で、今では、たのもし家族の一員となりました。

姫さまとの初めての出会いのエピソード、さすが姫さま!!と思いました。

確かに初めて会った日を振り返ると、犬の性格は、その時に案外垣間見れるんじゃないかなあと、ハクとの初日を思い出した次第です。

さて、何度も繁殖のために、他にお預けになられた先輩方にお尋ねします。

昨年、ハクも初めて、種付けに2週間我が家を離れました。

心配で1週間経過して様子を見に行きましたら、預け先の飼い主にしっぽを振り、自分は、もうここで生きて行く事になったんだ？みたいな、会っても、喜びはしたものの、何しに来たん？という雰囲気を醸し出しておりました。

そして最終的に迎えに行った時、迎えの車には、直行で乗ったので、「ああ、一応我が家に帰る気持ちなんだ！」と安心したものの、家に帰ってから、ものすごく他人行儀な雰囲気を醸し出して、家族で「よその犬みたいになったみたい！」と、少し淋しい思いをしました。

今思えば、「よくも、オイラをよそに長く預けてくれちゃって！」とスネていたのかなあと。

頭が良いので、預けて帰る時、言葉で、「君には繁殖という大事な役目があるので、しばらくここで頑張る。仕事が終われば、迎えに来るよ」と言えば良かったなと反省しています。

また、帰宅後、あれほどたまにしていた自慰行為を一切やらなくなり、げっそり、精魂尽き果てたようなヤツレ感が漂い、出産の雌も大変だけれど、雄も案外エネルギー使うんだなあと感じました。

皆様の犬は、どんな感じなのでしょう？

●次号47号の原稿は、2020.8月までをお願いします。

みなさまの投稿をお寄せ下さい。

●会費や寄附などのお寄せ頂いた方の

氏名・県名を掲載させていただきますが、匿名を希望される場合は

お知らせ下さい。

お知らせ JSRCのメディア紹介

辰巳出版株式会社発行

「SHI-BA 5月号・2020」定価980

72頁「みちのく縄文犬物語」に 秋田県 五味靖嘉さん の紹介記事が6頁載りました。



○ 辰巳出版株式会社発行

「SHI-BA 5月号・2020」定価980
一部内容紹介

